

令和7年度繰越明許費繰越計算書について (県土整備部)

1. 款項別

款・項	令和7年度		令和6年度		増減	
	事業数	金額 (百万円)	事業数	金額 (百万円)	事業数	金額 (百万円)
総合企画費	1	36	1	22	-	+ 14
県民生活費	1	36	1	22	-	+ 14
土木交通費	37	28,127	31	29,808	+ 6	▲ 1,681
土木交通管理費	1	84	-	-	+ 1	+ 84
道路橋りょう費	9	14,896	8	16,627	+ 1	▲ 1,731
河川費	12	9,368	10	8,726	+ 2	+ 642
港湾費	3	360	3	114	-	+ 246
砂防費	10	2,789	8	3,803	+ 2	▲ 1,014
都市計画費	2	630	2	538	-	+ 92
災害復旧費	1	74	1	104	-	▲ 30
土木交通施設 災害復旧費	1	74	1	104	-	▲ 30
合 計	39	28,237	33	29,934	6	▲ 1,697

2. 繰越額の内訳

単位：百万円

		令和7年度	令和6年度	増減
翌年度への繰越額	A+B	28,237	29,934	▲ 1,697
公共事業	A:a+b	27,284	29,560	▲ 2,276
国補正予算	a	12,802	12,203	+ 599
国補正予算以外	b	14,482	17,357	▲ 2,875
公共事業以外	B	953	374	+ 579

3. 令和8年度の公共事業費の執行について

引き続き、業務量に応じた体制を整えるとともに、職員の負担軽減や事業執行の平準化の取組をさらに進める。

- (1) 人員体制の充実
 - ・ 土木技術職員の確保
- (2) 職員の負担軽減
 - ・ 設計、積算および監督業務のアウトソーシングの更なる活用
- (3) 事業執行の平準化
 - ・ 債務負担行為の活用による発注時期の分散化